

# 2021年度 太陽の家キャロット自己評価表結果

公表 2022年3月24日

社会福祉法人 光友会 太陽の家 キャロット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・曜日によっては、狭さを感じる時もあるが、部屋の使い方を工夫している。活動によって、ホールや園庭、別の部屋の利用などしている。
	2	職員配置数は適切であるか	○		・国、市の基準配置以上の職員配置と、活動や、利用児の支援で必要な場合はフリー職員を配置している。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか	○		・利用児に分かりやすく、視覚的な配慮等、構造化に取り組んでいる。施設が古く、バリアフリーとなっていない部分は、エレベーターを利用する等工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・老朽化をしているが、清潔に保つため日々の清掃、感染予防対策等に努めている。いろいろな部分での、修理、改装を行い環境を整えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	○		・日々支援内容や業務について検討、話し合いを行っている。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		・保護者からの要望や、アンケート等を受け、検討や、改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○		・保護者評価、自己評価結果を、施設内掲示、HP掲載、その他での方法で公表している。 ・職員会議等で話し合いを持ち、検討、確認、改善等に取り組んでいる。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・例年外部の専門家に療育の指導、助言を受けている。今年度は、コロナ禍の為、実施でき無かった。次年度に向けて実施依頼を進めている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修は、コロナ禍の為、リモートで受ける等している。 ・園内での研修の充実を図り取り組んでいる。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・全ケース定期的に検討会を行っている。 ・必要な支援等確認し、個別支援計画を作成し、総合的な評価に取り組んでいる。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・共通の評価表を使用している。 ・経験年数に関係なく、評価ができるようにしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援の「発達支援」、「保護者支援」、「地域支援」を3つの柱として、重点項目と設定し取り組んでいる。 ・幼稚園、保育園への併行通園がスムーズに進むように努めている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・個々の障害特性、状況を把握し支援を行っている。 ・行動記録様式は、個別支援計画に沿った項目としており、支援計画を意識できるように配慮している。

	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・狙いや目標を決めて、プログラムを組んでいる。</li> <li>・毎日クラスで打ち合わせを行い、活動の確認等行っている。</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの興味・関心を察知し、プログラムを作成している。</li> <li>・児童の特性を踏まえ、同じ活動でも、その都度狙いを設定し積み重ねの経験も大切にしながら取り組んでいる。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の課題と、併行通園での課題を整理し、目標を定めている。</li> </ul>
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスリーダーを中心に日案の打ち合わせを行っている。</li> <li>・クラスの補助に入る職員にも伝え、共有を図っている。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の振り返り、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後の振り返り等大切にしている。</li> <li>・勤務時間の違いや、会議等で実施出来ない場合もあるが、しっかりと構築できるように意識、時間の工夫に取り組んでいる。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援目標に沿った記録ができるように、記録の取り方、記入の仕方など向上を図っている。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担当者、児童発達支援管理責任者だけでなく、関係職員全員で総合的な視点に基づいて計画を策定している。</li> <li>・保護者の以降を確認しながら見直しを行っている。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が出席しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任や児童発達支援管理責任者が出席している。</li> </ul>
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・併行通園児童の幼稚園や保育園を相互に訪問するなどして、様子を観察したり、話し合いの場を設ける等、関係機関との連携に努めている。</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、装具着用のお子さんの対応で、医療機関やPTの話を聞き対応した。</li> </ul>
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	同上	
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園先に出向いて、職員と意見交換、相互理解を図っている。</li> </ul>
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の就学支援委員会に児童発達支援管理責任者が出席し、就学に向けて情報交換や検討を行っている。</li> <li>・引継ぎ資料の提出や、必要に応じて学校への訪問、アフターフォローも実施している。</li> </ul>
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年先進施設への派遣研修を実施している。今年度はコロナ禍のため、交流研修は実施出来ない。</li> <li>・次年度に向けて方法を検討している。</li> </ul>
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・併行通園のため通園先で出来ている。</li> </ul>

	29	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でリモートでの会議となることや、中止、延期となるものが多かった。</li> <li>・市主催の会議などは、施設長や管理職が参加している。</li> </ul>
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通理解が出来るよう、親子通園や参観、電話等で保護者と情報交換、支援内容、方向性等の共有、確認をしている。</li> </ul>
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者等に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が障害の理解を深められるように、保護者教室の開催、書面の配布等を行っている。今年度は、コロナ感染が少し落ちついた時点で、5回保護者教室の実施が出来た。</li> </ul>
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会や個々の契約時、内容変更事等に丁寧に説明している。</li> </ul>
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者との個別面談の機会を設定し、支援内容、変更点、意向等を確認し、保護者からの同意を得るようにしている。</li> </ul>
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言が必要と思われた場合は、面談、電話等により迅速に対応している。</li> <li>・日々の相談シートも活用している。</li> </ul>
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母会はないが、保護者交流が出来る機会を作れるよう、保護者教室、懇談会など行っている。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が安心して預けられるように、関係性を築いている。</li> <li>・相談の申し入れがあった場合は、早急に対応できるようにしている。</li> <li>・相談内容によって、園の相談支援専門員に繋げている。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「しいの実だより」を発行し、活動、行事予定等、必要な伝達事項を含め、その都度編集会議を開き紙面の充実に努めている。</li> <li>・法人のホームページへの記事記載を担当で定期的に行い、更新している。</li> </ul>
	38	個人情報の取り扱いに十分配慮しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについては、鍵付きの書庫や取扱への配慮等、慎重な対応に心がけている。</li> <li>・事務机に書類を放置しない事を周知している。</li> <li>・連絡帳の入れ間違い等内容に、ダブルチェックしている。</li> <li>・個人情報の使用についてきちんと同意を得ている。</li> </ul>
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、保護者に伝わりやすい方法を選択している。</li> <li>・言葉等の情報伝達が難しい場合は、視覚的な情報伝達を積極的に活用している。</li> </ul>
	40	事業所の行事に地域の住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年は地域の方を招待して「太陽の家祭り」を行っているが、コロナ感染のため地域の方の参加は、縮小して実施した。</li> <li>・畑の借用等で積極的に地域と関りを持っている。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害を想定したマニュアル整備をし保護者に配布できた。</li> <li>・感染症の研修を行い、全職員が対応できるようにしている。</li> <li>・危機管理についての意識向上に努めている。</li> </ul>

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回避難訓練を実施し、反省等を行っている。</li> <li>・年1回「太陽の家」全事業所での総合防災訓練を実施し起震車による地震体験、けむり体験訓練、消火器訓練を行っている。今年度は、梯子車による屋上避難訓練のデモンストレーションも行った。</li> <li>・肢体児クラスの避難に使用しやすいおおい紐を購入した。使用して今後の購入の数を検討している。</li> </ul>
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時及び個人面談の際に情報の聞き取り、確認をして状況が記載された書類等で服薬内容、てんかん発作、医療的な配慮事項等把握をしている。</li> <li>・看護師への伝達、情報共有に努めている。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示書に基づき、看護師、栄養士、児童発達支援管理責任者、担当でカンファレンスを行い、対応を確認している。</li> <li>・給食の誤提供がないように、厨房や栄養士、食事介助の保育士と連携し提供方法の確認作業を決めて対応している。給食のプレートやトレーの色を変える等、他児と視覚的に区別できる工夫をしている。</li> <li>・配膳時には必ずダブルチェックを行っている。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のヒヤリハットを集計し、整理して全職員に周知している。リスクを回避する取り組みを行っている。</li> <li>・すぐに周知の必要性があることや、事故を防ぐ気付き等はその日の終礼で全職員に周知している。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会を毎月開催している。守秘義務を徹底し周知内容がある場合は伝えている。</li> <li>・虐待防止研修を行い、職員の意識を高めるとともに、虐待の早期発見、早期対応に取り組んでいる。</li> <li>・家庭虐待の心配のあるケースでは、児童相談所と連絡を密にして情報交換に努めている。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもの保護者に事前に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束にあたる行為は行っていない。座位保持ベルトを使用する場合は、整形外科医の指示を受け、保護者の同意を得て対応している。</li> <li>・使用について、個別支援計画に必ず記載している。</li> <li>・医師の指示がある場合でも、必ず保護者の同意を得ている。</li> </ul>